



ある日唐突に
キキヨウに
呼ばれると――

これは

なに？

オナホール…
ですかね？

「先生」が
オナホールを
持っていて
よいのかという
質問なんだけど
私の言いたい
こと伝わら
なかった？

なるほど…

だが
キキヨウさん…

一つとして
思い当たる
節がないのですが

本当に
思い当たる所がない…
といった
どういいうつもりだ…

……そう
でも

状況証拠だけで
十分でしょ？

たとえばそれが――

誰かに
仕組まれた
ものだと
してもね

しゅるっ

このことを
秘密にする
代わりに

私の命令を
おねがい
きいてもらうから

...

!

なるほど…

つまりは
キキョウなりの
試し行動…

どこまで自分を
受け入れて
くれるか

今度は意図が
伝わったね

命令なわけだから
私とどんな
状況になろうと
あんたにはなにも
責任が発生しないの

必要な建前は
こんなものでいい？

素直に
ならなかった
あんたが
悪いんだから
覚悟してね…

しゅるっ…

まったく
面倒な
猫だ

まあ満足したら
終わるだろう…

で…どうする
つもりだ？

ヤチ…

ト

キキヨウ…!?

私があんたに
痛いことする
わけないでしょ

あと…
私と
いるときは
私から
目そらさないで

ほら
口開けて



れろろ



！
アッ！

私がいいって
いうまで
飲み込まないで

まだ
飲んじゃダメ



こ…
呼吸が…

アッ…
アッ…



鼻で呼吸すると
容赦なく
キキョウの
ニオイが入ってくる

アッ！
アッ！



アッ…

アッ…

アッ…

アッ…

アッ…

アッ…

アッ…

アッ…

アッ…



いいよ
私のつば
飲み込んで

ちやんと
味わってね

どれほど時間が
たったか
ようやく
満足したらしい...



今自分の口に
あふれている液体が
どちらのものかも
わからなくなつた頃

私の味と
ニオイ

覚えて
くれた？



それと.....

シク...

さっきから
ココも
苦しそうだけど



そう...

あんたって
本当に...

まあ...
こんなもので
いいかなー

気が済んだか...

—今日は



生理現象だ...

問題ない...

これ以上は
踏み込むのも
踏み込まれるのも
まずい...

とにかく
キスだけで
済んで良かった
実際まわち
よからし...



当然でしょ？

これからも
ちやんと
覚えていつて
もらうから

どろろ...



え...？

これで終わり
じゃないのか？



はい

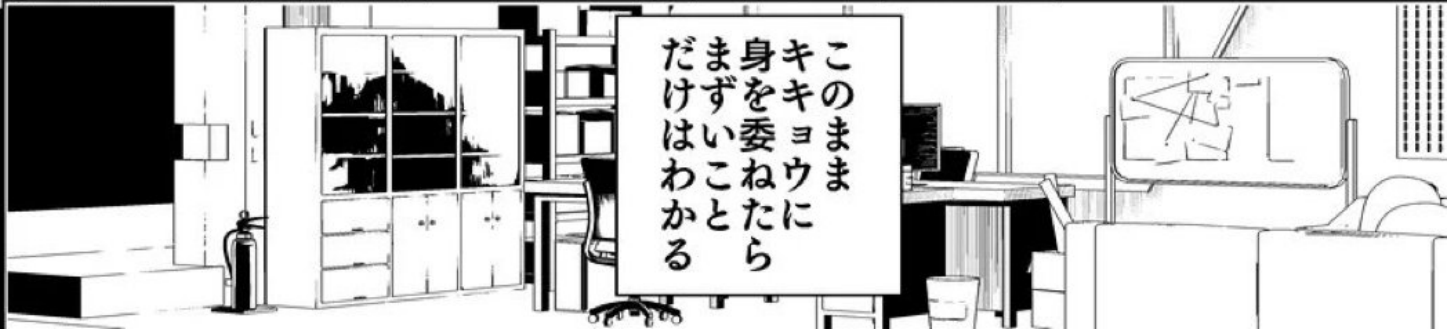
あと
勝手に
射精するの
禁止だから
約束ね

約束破ったり
したら...
ふふ...



あとこれ

私がない時でも
私のこと
忘れておいて
ね



このまま
キョウに
身を委ねたら
大丈夫
だけはわかる



別に...

ギギ

いや...

あれ？
先生風邪？

!



だが特に
とれる
対策もなく
数日がたった

今日は匂いだけ
じゃなくて
味も覚えて

直接ね



私のおまんこの
匂いちゃんと
覚えられた？

おちんちん
苦しそうだね
ちゃんと両方とも
約束守ったんだ

今日は
何を...？



じい
つとく
けなど
ねん

う...
マस्कより
断然強い
ニオイ...



あゝゝゝ

あんたに効率よく
私のニオイと味を
覚えてもらうために



ぬと...

わあ

ど

一昨昨日からお風呂
入ってないからだから



カッ

ぜんぶ
綺麗にするまで
終わらないから
ちやんとなめて

ほら早く



そう...

ん...

強いアンモニア臭の
奥に...ねっとり
まわりつくような
酸味のある味

キキョウの
ニオイと味...
太ももの感触に
感覚が支配されて

呼吸も
制限されて
頭がぼーっと
としてくる...

いつまで
なめさせ
られるんだ...?

チンチン



ん...



酷い顔……

私の愛液と
自分のよだれで
ふやけちゃって
おいしかった？

おいし
いわけ
ないだろ……

……そう



じゃあ次は
こっち

皺の一本一本まで
しっかりなめて

こっちは
もつと味濃いから
ちゃんと覚えて

うう……

おん

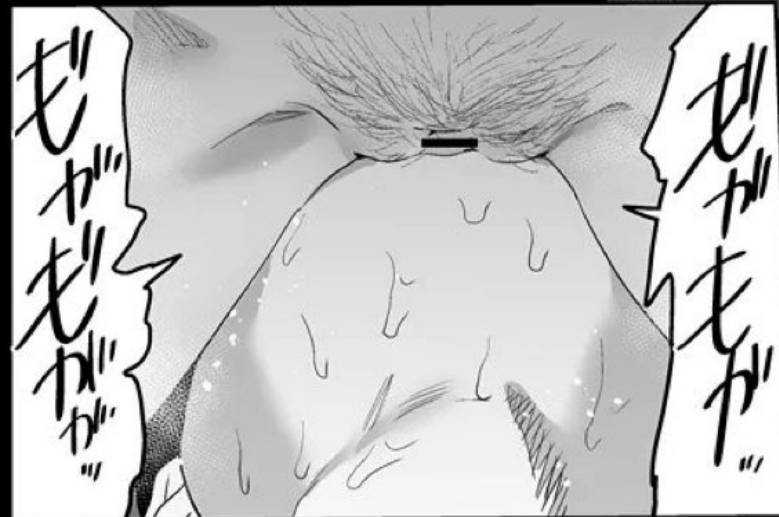


キキョウの
落ち着いた
印象からは
想像できない

主張の強い肛門……

おん

おん







うろうろ...

あ...あれ...



言ったでしよ？
後悔しないで
ねって...

どうしたの？
もしかして
射精したかった？

ひゅん...

ひゅん...



どうしても
出したかったら

どうしてもなら「私」に
出させてもらえるか
考えておいてね

もう限界だ...

ひゅん...

あんなことまで
してしまったし
射精するぐらいなら…

ふうん…
やっとな素直に
なったんだ

じゃあ

はい

ぬちゅ

ふん

びんごん

やっぱりあんたは
私なんかより
おもしろい方が
いいんだもんね？

ちゅ

びんごん

は
は
ちゅ
びんごん



私では
射精したく
ないけど

擬似まんこでは
射精したいんだ？

あんたは
穴が空いて
気持ちよくなれば
なんでも
いいんだもんね？

…あの…

その…

キキョウ…に

…そう
私じゃないと
ダメ？
私以外じゃ
だめなんだ

はい…

キキョウが
いいです

射精させて
欲しい…です

じゃあ今後は
射精するときは
私とだけって
約束できる？

それは…

はい…

今度はちゃんと
正解えらべたね





射精せそう
だったのに

私の感触に
集中して

余計こと
言わないで

でそうっ...
でるっ

あっ

ううっ

こんなの...
すぐでる

キキョウの
細くて
やわらかい指

うっ...

ううっ

びしびしびし

あっ

あー!

私の顔だけ見て
私の名前だけ呼んで

射精はちゃんと
「私」だけを
感じながら
あんたが
そうなるまで
出させる
つもりないから

出したい…

射精感が
上ってきてても
毎回止められて

意識が
朦朧として

本当に
キキョウの
ことしか…

それをずっと
繰り返される

れろれろれろ

早く…
出させて…

なんだこれ

キキョウ…

ハムハム

ハムハム

ハムハム

ハムハム

ハムハム

ハムハム

ハムハム

ハムハム

ハムハム



目の前の
キキヨウの顔

キキヨウのニオイ

キキヨウの髪

キキヨウの口

キキヨウの声

キキヨウの目

キキヨウの歯

キキヨウの味

キキヨウの体温









まあいっか



いくつ

イグツ



見て先生

挿入ただけなのに
軽く...



んん...

ぬん...



あんたもいつでも
イッていいけど

今までの分
ちやんと私も
楽しませてね...

ワッ

ワッ

ワッ

ワッ

んんん

んんん

ワッ

ワッ



舌出して



出したばかりなのに

ちんちん 跳ねてる...

コレ
ふすき
ふあん
ふだあ

かみッ

かみッ

かみッ

カミッ

カミッ

カミッ

カミッ

カミッ

今日
危ない日だけど

今のあんたには
関係ないよね

ちゃんと
責任とって
くれるもんね

私をあんただけの
ものにする射精なかつしてっ？

うっ…!!

キキョウッ

クンッ

早く抜かないと
っっっっっ

でぢやうっ!!

ズズズズズ







キキヨウ!

シム...

キキヨウ...

アハハ

アハハ

お

ん!!

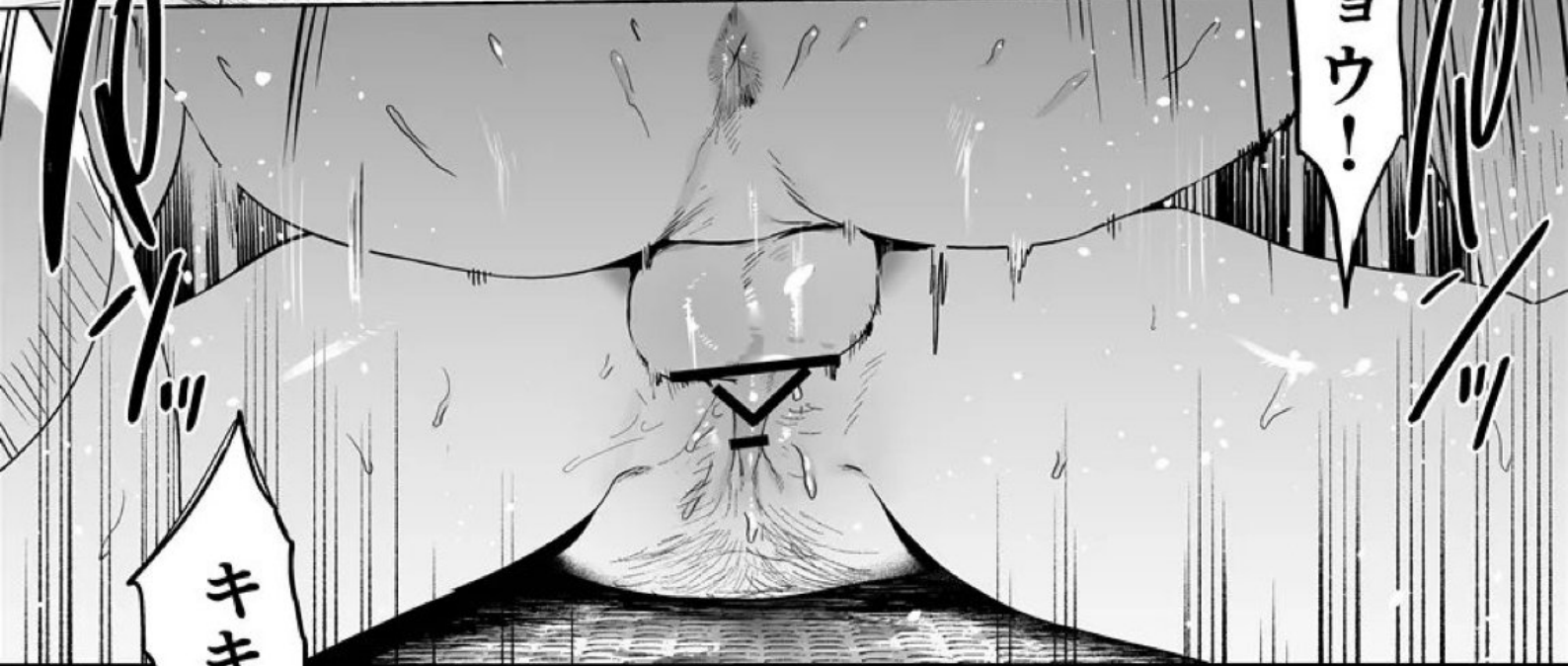
あ

ぬい





キキヨウ!



キキヨウ!



ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド



でるっ！

ぬぎゃ

でるっ！



言ったでしょ？
余計なこと言わないで
私の名前だけ呼んで？

ガッパッパッ

ガッパッパッ

キキヨウの顔
を見るだけで

勃起が…

キキヨウ!

キキヨウを
感じるだけで

射精が
止まらない…!

無責任に
射精しながら
腰ふって

いとちゅっ

いとちゅっ

いとちゅっ

いとちゅっ

獣の交尾みたい

キキョウッ!

あんたの欲望きもち全部ちょうだい？

残っているの全部出して

精子でわたしたちにマーキングして





まだ
出せるでしょ？



最近先生と
キキヨウ
見かけないね

たしかに
どうしたん
だろうね

今頃みんな
探してるかな

このまま本当に
消えちゃう？

だって今ここに
あんたと私がいる

ほかに何も
必要ないもんね